

(様式1)

## 職業実践力育成プログラム(BP)への申請について

平成28年10月5日

①学校名:	日本赤十字豊田看護 大学	②所在地:	愛知県豊田市白山町七曲12番33			
③課程名:	看護教育プログラム	④正規課程/履修証明プログラム:	履修証明プログラム	⑤開設年月日:	平成29年4月	
⑥責任者:	山田 聡子 研究科長	⑦定員:	10名	⑧期間:	2年	
⑨申請する課程の目的・概要:	<p>看護師には、看護の対象者を全人的に捉え、対象者の生命力の消耗を最小にするよう生活過程をと整えることが求められる。看護師の専門性を高め、質の高い看護を実践するためには、看護の対象者への教育的な関わりが必要である。臨床においては、経験を積んだ看護師には新人教育を担当する役割が期待され、さらに、各自が専門職としてキャリアアップをするために継続教育プログラムを段階的に受講し、研鑽を積むことが必要不可欠である。また、看護の基礎教育課程の教育内容を理解した上で看護学生の実習指導を行う役割もある。本課程は、臨床における看護実践、継続教育、実習指導を行う際に共通の基盤となる教育の原理・原則や看護理論を学び、実際の継続教育に適用できる教育方法論を理解することを目指す専門職業人の教育プログラムである。</p>					
⑩4テーマへの該当の有無	無	⑪履修資格:	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 大学を卒業した者及び平成29年3月卒業見込みの者</li> <li>2. 看護師資格があり、3年以上の勤務経験を有する者</li> <li>3. 保健師、助産師、認定看護師等の看護に関する専門的な資格又は経験を有する者</li> </ol>			
⑫対象とする職業の種類:	看護師、保健師、助産師					
⑬身に付けることのできる能力:	(身に付けられる知識、技術、技能) ・看護教育の原理・原則に関する知識 ・看護における教育政策上の課題に関する知識 ・看護の対象者をホーリスティックに捉えることのできる看護専門職者を教育するための方法論		(得られる能力) ・看護基礎教育における臨地実習指導者としての指導力 ・スタッフの新人教育におけるプリセプターやリーダーとしての指導力			
⑭教育課程:	<p>「看護理論」と「看護教育原論」科目により、看護や看護教育の原理・原則に関する知識を自己学習と講義により理解した上で、「看護教育方法論」と「精神看護学教育方法論」科目で、それらの原理・原則を実際の教育に用いる方法論を修得する。実際の教育に用いるプロセスにおいては、受講生の臨床現場での教育経験についてグループ討議を行いながら双方向で理解を深化させる。さらに、「看護政策論」科目により広い視野に立って看護における教育政策上の課題を探究し、「看護倫理」科目により看護実践における倫理的諸問題を討議することで倫理観を深め、指導者に必要な能力を育成する。また、「コンサルテーション論」科目では、教育を行う上での関わり方について、コミュニケーションの基礎論を学んだ上で、実務家教員や臨床で活躍している高度実践看護師を非常勤講師として事例に基づく演習を行い、その中で、ロールプレイやグループディスカッションを行いながら、プログラムを効果的に展開する。</p>					
⑮修了要件(修了授業時数等):	7科目(12単位)を修得					
⑯修了時に付与される学位・資格等:	履修証明書					
⑰総授業時数:	12 単位	⑱要件該当授業時数:	12単位	該当要件	⑲要件該当授業時数 / 総授業時数:	100%
⑳成績評価の方法:	<p>各科目、次の方法のいずれか、もしくは組み合わせにより、科目担当者が評価し、科目担当責任者が総合的に評価する。</p> <p>・参加状況 ・課題レポート ・課題に関するプレゼンテーション ・グループワークの参加度</p>					

②①自己点検・評価の方法:	学校教育法第109条第1項に定める評価を実施する。 セメスター毎の授業評価アンケートを5段階評価で実施し、評価点および自由記載内容を取りまとめ、大学院教務・学生委員会における検討を経て研究科委員会に報告する。さらに、各科目担当者に評価内容についてフィードバックを行い、各科目担当者が改善点および方法について研究科長に報告することでプログラムの質向上を目指す。
②②修了者の状況に係る効果検証の方法:	プログラム修了後の活動の実際について、アンケート調査を年1回実施し、プログラムの効果について経年変化を比較して検証する。
②③企業等の意見を取り入れる仕組み:	(教育課程の編成) 履修証明プログラム検討会議において、臨床における教育上のニーズや教育内容の希望について意見を収集し、それらを踏まえて教育課程の編成を検討する。  (自己点検・評価) 履修証明プログラム検討会議において、臨床における修了生の活動状況について情報を収集し、さらに外部評価者による教育内容についての意見を踏まえ、教育課程の評価を受ける。
②④社会人が受講しやすい工夫:	夜間・土曜開講。
②⑤ホームページ:	(URL) <a href="http://www.rctoyota.ac.jp/">http://www.rctoyota.ac.jp/</a>

---

事務担当者名:	小島 裕子	所属部署:	学務課 教務係
連絡先:	(電話番号)0565-36-5111 (E-mail) <a href="mailto:gakumu@rctoyota.ac.jp">gakumu@rctoyota.ac.jp</a>		

\* パンフレット等の申請する課程の概要が掲載された資料を添付してください。